

タイトル：マーケティングに基づいたシティプロモーションやブランディングの推進

～ワークライフバランスの実現が出来る街・シェアリング・エコミーサービスによる「ライフデザインサポートシステム」～

グループ名：関西イクメン&ワーキングママ

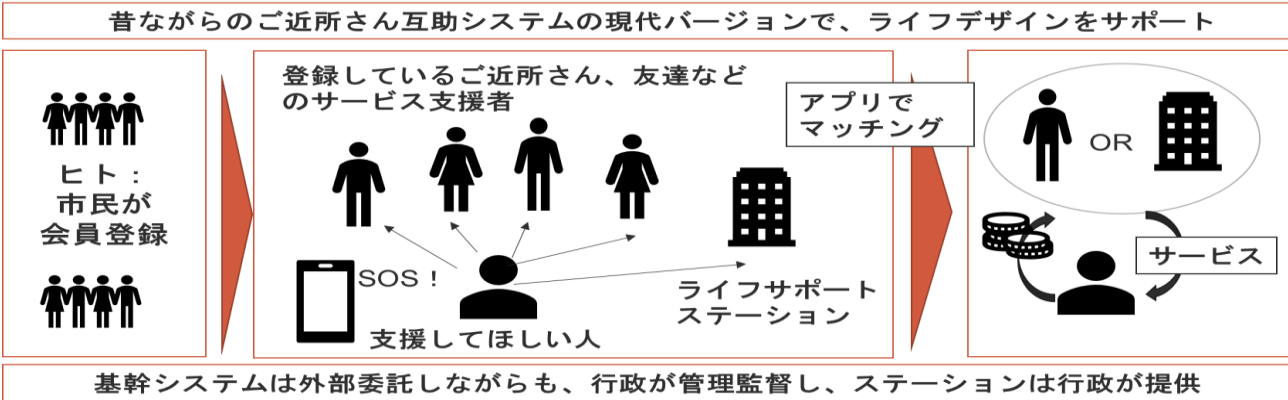
▶内容：20代～30代の女性が、子育て、仕事、自分の生きがいをいずれも諦める必要がない、自由に自分らしいライフ・デザインができる街だと、枚方市を高く評価して、生涯暮らし続けるためのソリューション

誰が：様々な機関が連携（枚方市と市民、教育機関、医療機関、研究機関及び民間企業とがチームを組む）

何を：20～30代女性がライフステージの変化で起きる困りごとを

どこで・いつ：枚方市内の、いつでも、どこでも、困っている時、即時に、

どのように：きめ細やかに、リーズナブルな価格で（困りごとを）解消する、シェアリング・エコミーサービスを提供



▶論拠：20代～30代の働く女性をターゲットとした理由

自治体として存続するために、税収拡大・維持は重要な問題。納税できる市民を維持・拡大するには、納税できる期間が長い20代・30代の働く女性を重視。市内の大学を卒業し、就職後も枚方市に住み続けるメリットがあれば、引越さない。子どもを産みやすい環境を整えることで、2人目、3人目の出産も期待でき、人口増につながる

▶実現プロセス

主体：枚方市のシティー・プロモーション課が外部の運営会社に委託

ライフ・サポートステーション内のアフタースクール・こども食堂・サテライトオフィス利用者が公募し委託

資源：ヒト→数万人規模のサービス提供者・利用者

（サービス提供・利用の利便性と、顔が見えやすいサービスにするために、枚方市を、小学校/中学校区に区切って集める）

モノ→駅前再開発のビルの一部を、「ライフ・サポートステーション」として、枚方市が提供

外部委託業者と共にマッチングアプリを開発

カネ→クラウドファンディングで収集する

安全性：保険加入（一般社団法人シェアリングエコミー協会・損害保険ジャパン日本興亜株式会社）

信頼性：サービス提供者・利用者の評価システム・登録時の工夫

- ・シェアリングエコミー用に、SNSでサービス提供者の信頼度をスコア化するサービスを利用
- ・アプリ上で、サービス提供者・サービス利用者の相互評価を公開する（例：Uber, Airbnb）

